

関本照夫教授 略歴・主要著作目録

平成 22 年 3 月

関本照夫教授 略歴

昭和22年 1 月	横浜市保土ヶ谷区神戸町にて出生
34年 3 月	札幌市立幌南小学校卒業
37年 3 月	鎌倉市立第一中学校卒業
40年 3 月	神奈川県立湘南高等学校卒業
40年 4 月	東京大学教養学部文科二類入学
43年 4 月	東京大学教養学部教養学科文化人類学分科進学
47年 3 月	同 卒業
47年 4 月	東京大学大学院社会学研究科文化人類学専攻修士課程入学
49年 3 月	同 修了
49年 4 月	同専攻博士課程進学
51年 1 月	同 中退
51年 2 月	国立民族学博物館第五研究部助手
56年 4 月	一橋大学社会学部専任講師
58年 1 月	同 助教授
62年 4 月	東京大学東洋文化研究所汎アジア部門助教授
平成 3 年 4 月	同 教授
18年 4 月	同 所長（21年 3 月まで）
22年 3 月	定年により退職

客員その他

昭和57—59年	カリフォルニア大学バークレイ校人類学部客員研究員（財団法人国際文化会館・社会科学国際フェローシップによる）
58年 6 月	論文「サウイト事件の文化論的研究」で財団法人民族学振興

会瀧澤賞を受賞

62年4—5月 ロンドン大学ロンドン経済政治学校人類学部客員研究員

(同校サントリー・トヨタフェローシップによる)

平成1年4月 国立民族学博物館助教授ついで教授併任(平成6年まで)

5年3月 米国 Social Science Research Council, Joint Committee

on Southeast Asia委員(平成8年まで)

10年4月 中部大学中部高等学術研究所客員教授(平成14年まで)

その他

関本照夫教授 主要著作目録

編著、共編著

『人類学的歴史とは何か』 関一敏編・川田順造・野村雅一・福井勝義と共著
海鳴社 1986

『現代の社会人類学』3巻, 伊藤亜人・船曳建夫と共編著, 東京大学出版会 1987

『国民文化が生れる時——アジア・太平洋の現代とその伝統』 船曳建夫と共編
著 リプロボート1994

Handicrafts and Industrial Development in Southeast Asia, Toyota Foundation
Research Grant Report, 2000

*Interim Report: Handicrafts and Socio-Cultural Change: A Study of Batik Making
in Cirebon and Pekalongan*, Center for Japanese Studies, University of
Indonesia 2003

Handicrafts in the Age of Global Economy: Indonesia and Japan. (Coauthored with
Semiarto Aji Purwanto and Hanantiwi Adityasari), Center for Japanese
Studies, University of Indonesia 2003

『比較史のアジアー所有・契約・市場・公正』 三浦徹・岸本美緒と共編著 東
京大学出版会 2004。

翻訳

E.R. リーチ 『高地ビルマの政治体系』 弘文堂1987

論文

「ギアツの宗教分析論をめぐって——宗教研究の方法に関する覚書」『アジア経
済』 15-12, 1974

- 「文字をなくした伝承と未開の文字」上田正昭編『日本古代文化の探求——文字』
社会思想社 1975
- 「中部ジャワ農村の儀礼的食物交換——スラカルタ地方の事例より」『国立民族
学博物館研究報告』1-3, 1976
- 「宗教民族誌の読み方と書き方」『国際宗教ニュース』15-3・4, 1976
- 「ジャワ農村の二つの社会的空間」『民博通信』1, 1977
- 「農業をめぐる人のカテゴリーと相互関係——中部ジャワの一事例」『国立民族
学博物館研究報告』3-3, 1978
- “A Paddy-Growing Village in Central Java.” In, M. Kuchiba and L.E. Bauzon (eds.),
*A Comparative Study of Paddy-Growing Communities in Southeast Asia and
Japan*, Tokyo, Toyota Foundation, 1979
- 「市場と精霊」『民博通信』6, 1979
- 「二者関係と経済取引——中部ジャワ村落経済生活の研究」『国立民族学博物館
研究報告』5-2, 1980
- 「社会」綾部恒雄・永積昭編『もっと知りたいインドネシア』弘文堂 1982
- 「サウイト事件の文化論的考察」鈴木中正編『千年王国的民衆運動の研究』東
京大学出版会 1982
- 「ジャワ聖墓巡礼考——イスラームと土着的伝統主義」中牧弘充編『神々の相克』
新泉社 1982
- “Social Gathering at Night: Forms of Communal Assembly in Java.” *East Asian
Cultural Studies*, 22, 1983
- 「村の時間と歴史——ジャワの王国と農民」大林太良編『東南アジアの民族と
歴史』（民族の世界史6）山川出版社 1984
- 「ジャワ農村経済への社会人類学的視点」板垣與一編『アジア研究の課題と方法』
東洋経済新報社 1986
- 「村と国家行事」原洋之介編『東南アジアからの知的冒険』リプロポート 1986

- 「ジャワ神秘主義の民族誌」『国立民族学博物館研究報告』11-2, 1986
- 「稲作民の神話的風景」大林太良他編『田園祝祭 さと』（日本人の原風景 3）
旺文社 1986
- 「ソロの都市イメージ——村からの眺め」青木保編『都市の肖像——東南アジアにおける地方都市社会の研究』（昭和62年度科研海外学術調査報告書）
大阪大学人間科学部, 1988
- “The Urban Image of Solo: A Peripheral Village Perspective,” *East Asian Cultural Studies* 27/1-4, 1988
- “A Preliminary Report on the Javanese in Selangor, Malaysia,” *Southeast Asian Studies* 26-2: 1988
- 「文化の違いを見る目の違い」東京大学公開講座『異文化への理解』東京大学出版会 1988
- 「フィールドワークの認識論」伊藤幹治・米山俊直編『文化人類学へのアプローチ』ミネルヴァ書房 1988
- “Research Methods in Japanese Studies: Cultural Anthropology,” *Orientation Seminars on Japan*, No.31, the Japan Foundation: 1988
- 「マレー半島のジャワ人移民社会——サバ・ブルナム調査ノート」『東洋文化研究所紀要』109, 1989
- 「東南アジアと「劇場国家」」『みすず』340（1989-6）, 1989
- 「ジャワにおける儀礼と食物——スラマタン儀礼の供物の象徴性」松原正毅編『人類学とは何か——言語・儀礼・象徴・歴史』日本放送出版協会 1989
- 「人類学にできること」田辺繁治編『人類学的認識の冒険——イデオロギーとプラクティス』同文館 1989
- 「東南アジアの国家と社会」『創文』307: 1990
- 「序論：国家と国民文化への人類学的接近のために」関本編『東南アジア・オセアニアにおける国家と国民文化の動態』東洋文化研究所 1990

- “State Ritual and the Village: An Indonesian Case Study.” In, *Reading Southeast Asia*, Vol.1, Cornell University Southeast Asia Program, 1990
- 「ジャワの正義王思想」『シリーズ世界史への問い 6：民衆文化』岩波書店 1990
- 「二者関係ネットワーク論再考——東南アジアの事例」『中国——社会と文化』6号 1991
- 「ジャワ人のヒエラルキーと自由：村人の集いの二つの形」『東洋文化研究所紀要』116, 1992
- “Antara Tradisi dan Realitas Sosial Masyarakat Indonesia: Untuk Penelitian Batik yang Holistik.” In, *Laporan Pelaksanaan Seminar Kehidupan Batik Tradisional Indonesia*, Tim Peneliti Batik Tradisional Indonesia, STSI Surakarta, 1992
- “A Cultural Analysis of the Sawito Incident.” In, *Millenarianism in Asian History*, Ishii Yoneo (ed.), Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa, 1993
- 「スリナムのジャワ人」『文明の地域性』（文部省科研費重点領域研究「総合的地域研究」成果報告書シリーズ: No.3）1994
- Pioneer settlers and state control: A Javanese migrant community in Selangor, Malaysia. *Tonan Ajia Kenkyu* 32-2, 1994
- 「社会」綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたいインドネシア・第2版』弘文堂 1995
- 「ジャワにおける行為の美的規範と社会秩序」清水昭俊編『洗練と粗野——社会を律する価値』東京大学出版会 1995
- 「インドネシアのドラえもん＜民族文化＞」『民博通信』No.68, 1995
- 「パティック産業の経済と文化」『創文』368 (95/8), 1995
- 「インドネシア近代のパティック産業の事例——文化の自画像の生成」『総合的地域研究』10号, 1995

- 「日本の人類学と日本史学」『岩波講座日本通史別巻 1・歴史意識の現在』岩波書店 1995
- 「神秘主義－観察者の視線，当事者の視線」『総合的地域研究』15号，1996
- “Uniforms and concrete walls: Dressing the village under the New Order in the 1970s and 1980s.” In, Henk Schulte Nordholt (ed.), *Outward Appearances: Dressing State and Society in Indonesia*, Leiden, KITLV Press, 1997
- 「文化概念の用法と効果」青木保他編・岩波講座文化人類学第13巻『文化という課題』岩波書店 1998
- 「<伝統文化>概念が周縁化するもの——現代インドネシアの文化状況」坪内良博編『総合的地域研究を求めて——東南アジア像を手がかりに』京都大学学術出版会 1999
- 「今日のインドネシア・バティック産業」『染織 a』99年7月号，1999
- “Innovation, Change and Tradition in the Batik Industry.” In, Michael Hitchcock and Wiendu Nuryanti (eds.), *Building on Batik: The Globalization of a Craft Industry*, Ashgate, 2000
- 「周縁化される伝統——バティックから見るジャワの近代」『民族学研究』65巻3号，2000
- 「布と人類学——世界とつながるローカルな伝統」東京大学東洋文化研究所編『アジアを知れば世界が見える』小学館 2001
- 「市場とコミュニティ——ジャワ・バティックとその社会的土台」東京大学東洋文化研究所編『アジア学の将来像』東京大学出版会 2003
- “Selves and others in Japanese anthropology.” In, Akitoshi Shimizu and Jan van Bremen, (eds.), *Wartime Japanese Anthropology in Asia and the Pacific*, (Senri Ethnological Studies no.65), Osaka, National Museum of Ethnology, 2003
- 「工芸生産に見る市場とコミュニティ：ジャワのバティック業」『研究彙報』

第5号，特定領域研究「資源の分配と共有に関する人類学的統合領域の構築——象徴系と生態系の連関をとおして」 自然資源の認知と加工” 研究班 2004

「不平等社会に見る平等への契機——ジャワ農村の事例」寺嶋秀明編『平等と不平等をめぐる人類学的研究』ナカニシヤ出版 2004

「手仕事における労働の意味——ジャワ・パティック産業の経営と労働」『東京大学東洋文化研究所新分野開拓研究プログラム，アジア諸文化間の多元的共生を求めて——過去から未来へ，平成15年度報告書』東京大学東洋文化研究所 2004

A comparative perspective on market and trade. *Annals of Japan Association for Middle East Studies* (『日本中東学会年報』) No.20-1, 2004

「プリント更紗とジャワの更紗製造業」国立民族学博物館編，『更紗今昔物語——ジャワから世界へ』国立民族学博物館 2006

「ものを作る技の考察」松井健編『自然の資源化』（内堀基光編・資源人類学，第6巻）弘文堂 2007

“Living in a vernacular culture: the Javanese in Surinam.” *Latin American Studies* 16, 2008

書評等

「『二つのイスラーム社会——モロッコとインドネシア』の翻訳について」『民族学研究』39-4, 1975

「東南アジア島嶼部の宗教」『シンポジウム「東南アジアの宗教と芸術」——報告と討論の記録（抄）』，国立民族学博物館 1978

“A Preliminary Bibliography for the Study of Customary Laws of Southeast Asia and Taiwan,” (coauthored with Yoneo Ishii and others)『国立民族学博物館研究報告』3-4, 1978

- 「討議・人類学的理解とは何か」（内堀基光, 小松和彦, 船曳建夫との座談会）『現代思想』10-8, 1982
- 「Turton, Andrew and Tanabe Shogeharu (eds.), History and Peasant Consciousness in South East Asia」『民族学研究』49-41985
- 「原洋之介『クリフォード・ギアツの経済学』」『朝日ジャーナル』28-2, 1986
- 「大林太良『シンガ・マンガラジャの構造』」『季刊人類学』17-1, 1986
- コメント, 福島真人「イスラムリーダーにおける信念と演技」『季刊人類学』17-3, 1986
- 「宮本勝『ハヌノオ・マンヤン族——フィリピン山地民の社会・宗教・法』」『民博通信』36, 1987
- Review, Robert Wessing, The Soul of Ambiguity: The Tiger in Southeast Asia, *Asian Folklore Studies*, 47-1, 1988
- コメントおよび総合討論「シンポジウム, フィールドからわかるということ」『季刊人類学』20-3, 1989
- 「モーリス・レーナルト『ド・カモ』」『朝日ジャーナル』33-4, ('91-2-1), 1991
- コメント, 松原正毅編『王権の位相』弘文堂 1991
- 「ジョセフ・ダーソー『アメリカンドリーム』」『朝日ジャーナル』33-20 ('91-5-3・10), 1991
- コメント「網野説へのいくつかの疑問」川田順造編『「未開」概念の再検討・Ⅱ』リプロボート 1991
- 「解説」ミゲル・コバルピアス著『バリ島』（関本紀美子訳）平凡社 1991
- 「白石隆『運動の時代——ジャワにおける大衆の急進主義 1912-26年』」『アジア経済』1992年4月号, 1992
- 「清水展『文化の中の政治——フィリピン「二月革命」の物語』」『民族学研究』57-2, 1992

講演要旨「宗教の多様性の中のイスラム——インドネシア・マレーシアの場合」

『東洋学報』74-1/2, 1993

「モハマッド・ハッタ著『ハッタ回想録』」産経新聞9月12日, 1993

「国際会議トピックス：第8回国際インドネシア研究ワークショップ」『学術月報』47-101994,

「東南アジア近代における文化の自画像の形成」（内堀基光・清水展と共著）『平成6年度の活動の記録』『総合的地域研究』No.7, 1995

「聖者信仰の近代——インドネシアの事例」（平成7年度秋期東洋学講座「アジアの聖者伝説」講演要旨）『東洋学報』77-3/4, 1996

「東南アジア近代における文化の自画像の形成」（内堀基光・田村克己・清水展と共著）『平成7年度の活動の記録』『総合的地域研究』成果報告書シリーズ：No.20, 1996

「書評, 速水洋子著 Between Hills and Plains: Power and Practice in Socio-Religious Dynamics Among Karen」『文化人類学』70-1, 2005

「文化遺産で未来を守る」シンポジウム無形文化遺産の保護と継承, 原聖編『ジョシビの無形文化遺産プロジェクト・議事録』女子美術大学 2008

座談会「學問の思い出——中根千枝先生を囲んで」『東方學』118輯, 2009

その他

「ジャワ影絵芝居の人形」『月刊みんぱく』1-3, 1977

「ジャワの家族と結婚式」『季刊民族学』6号, 1978

「影絵人形」『月刊みんぱく』3-7, 1979

「ワヤン・オラン劇の衣装（魔王ダサムカ）」『月刊みんぱく』4-1, 1980

「男と女の政治経済学」『月刊みんぱく』4-1, 1980

「ジャワの男と女」『世界と人口』80, 家族計画国際協力財団, 1980: (再録「ジャワの男は働かない? ——男と女」宮崎恒二他篇『アジア読本・インドネ

- シア』河出書房, 1993)
- 「王の文書庫, インドネシアのラディオ・プストコ博物館」『月刊みんぱく』
4-12, 1980
- 「博物館と祈禱師, インドネシアのトロウラン博物館」『月刊みんぱく』5-3,
1981
- 藤本ますみ・関本照夫(テレビ放送記録)「水田の稲づくり——インドネシ
ア・ジャワ島」『NHKみんなの科学・民族の知恵 2』日本放送出版協
会 1981
- 事典項目「インドネシア・住民, 宗教, 基層文化」「ギアツ」「金枝篇」「クリス」
「ジャワ族」「スラマタン」「ドクン」「フレーザー」「マドゥラ族」『世
界大百科事典』平凡社 1981
- 「ジャワ島の食事」『週刊朝日百科世界の食べもの』77, 1982
- 「予備校化するアメリカの大学」『歴史と地理』342, 1984
- 事典項目「イードル・フィトル」「インドネシア・住民, 宗教, 基層文化」「ガ
ルーダ」「ギアツ」「クリス」「共食」「ジャワ族」「神秘主義」「スラマタ
ン」「断食」「ドクン」「ナガ」「秘密結社」「マドゥラ族」『東南アジア
を知る事典』平凡社 1986
- 事典項目「奴隷」『文化人類学事典』弘文堂 1987
- 「文化の違いを見る目の違い」東京大学『学内広報』No.755, 1987
- 「ジャワの<連れ>の思想」『国際協力』1987/7, 1987
- 「インドネシアの風土と歴史」(コンサート・プログラム)『豊かなる海上の道,
マリンロード音楽の旅<3>インドネシア太陽の響き・海の舞』民主音
楽協会 1988
- “Implicit Culture and Explicit Culture,” *Echoes of Peace* 28 (January 1990),
Niwano Peace Foundation, 1990
- 座談会「アジアを向く日本, 欧米を向くアジアー新たな普遍的言語で語り合え

るか」(関本照夫・大沼保昭・鈴木勝也・スリチャイ・ワンガエーオ)
 大沼保昭編『国際化・美しい誤解が生む成果』(第3章) 東信堂 1990
 「礼式に守られた世界秩序——東南アジア多島海の戦争と平和」『週刊朝日百科
 世界の歴史 77, 戦争と平和』朝日新聞社 1990
 事典項目「民族」「割礼」「クバティナン」「クラマツト」「ゴトン・ロヨン」「ジャ
 ワ族」「スラカルタ」「ドゥクン」「中ジャワ」「ワリンギン」『インドネ
 シアの事典』同朋舎 1991
 事典項目「ガルーダ」「金枝篇」「クリス」「スラマタン」「ドゥクン」「ナガ」「秘
 密結社」「フレーザー」『世界宗教大事典』平凡社 1991
 事典項目「宮廷と都市・総論」「東南アジア古典期の都市」「都市と祭礼・東南
 アジア」「都市と聖者廟・東南アジア」「東南アジアの給排水」板垣雄三・
 後藤明編『事典イスラームの都市性』亜紀書房 1992
 「くころがり枕」を抱いて寝る」『季刊民族学』61, 1992
 「文化概念と近代世界」『本』1994・3月号, 1994
 事典項目「東南アジア——社会統合」『ブリタニカ国際大百科事典』(全面改訂
 版) TBSブリタニカ 1995
 「盆地の風景」横下夏也君追悼文集編集委員会『「神々の領分」その他——横下
 夏也君の思い出のために』東京大学教養学部文化人類学教室 1995
 事典項目「ジャワ人」「スリナム」『世界民族問題事典』平凡社 1995
 「土屋健治を追悼する」『比較法史学会会報』5号, 1995
 「土屋さんの最後の旅」『時間の束をひもといて——追悼土屋健治』土屋健治追
 悼集刊行会 1996
 事典項目「サミン運動」『歴史学事典第4巻・民衆と変革』弘文堂 1996
 淡青評論「外から見えやすい東大にするには」『東京大学学内広報』1997
 「グローバル化と国民文化」『国際文化会館会報』8-2, 1997
 事典項目「文化相対主義」『歴史学事典第6巻・歴史学の方法』弘文堂 1998

- 「贈与・個・比較社会」『阿部謹也著作集第6巻・月報6』筑摩書房 2000
- 事典項目「ジャワ」, 「マドゥラ」『世界民族事典』弘文堂 2001
- 「市場を考える——東南アジア, 中東, 中国」岩波講座『東南アジア史6』月報6, 2001
- 事典項目「バティック」可児弘明他編『華僑・華人事典』弘文堂 2002
- 「人, もの, 資源」文部科学省科学研究費補助金, 特定領域研究『資源の分配と共有に関する人類学的統合領域の構築——象徴系と生態系の連関をとおして・中間成果論集』特定領域『資源人類学』総括班 2004
- 「地図と国境」JAMS News『日本マレーシア研究会会報』No.32, 2005
- 事典項目「アイドル・フィットル」, 「ギアツ」, 「神秘主義」, 「相互扶助慣行」, 「断食」, 「祭り [島嶼部]」, 「東南アジア—— [住民]」『新版・東南アジアを知る事典』平凡社 2008
- 事典項目, 深見純生と共著「インドネシア—— [住民]」『新版・東南アジアを知る事典』平凡社 2008
- 事典項目「職人」, 「政治体系 (政治システム)」, 日本文化人類学会編『文化人類学事典』丸善 2009